



No.206

# 徳地町報

1972、12/5

発行者 徳地町長

編集者 徳地町企画室

印刷所 今産印刷所



徳地町駅伝競走

恒例の徳地町駅伝競走は、12月2日中学校7チーム、佐波高校2チーム、一般4チーム計13チームが参加して、26、2Kmの区間で行なわれました。その結果、中学校1位は八坂中Aチーム（1、33、26）2位は堀中チーム、高校1位、佐波高チーム（1、35、05）2位佐波高サッカーチーム、一般1位は4日クラブ、2位島地青年団チームの成績でした。（写真はスタートと1位ゴールイン風景）

## 徳地町山村開発センター工事

### 9,750万円で岡崎工業に落札

徳地町山村開発センターは、低迷する農林業の実情から脱却するため、積極的に産業教育を行なうとともに住民福祉の向上および都市的機能の導入を行ない、産業開発と住みよい町づくりを住民参加のもとに実現するための拠点として建設するものです。

町では、諸般の準備が進み、11月27日午前10時より役場会議室において、大手業者10社による指名競争入札を執行しました。その結果、9,750万円で北九州市八幡区築地町16の1に本社のある岡崎工業株式会社（社長、岡崎春雄氏）に落札、12月上旬着工の予定であります。山村開発センターは、昭和47～48年度の2年連続事業として、48年9月20日完成の予定で建設され本町の産業、文化開発の拠点とする計画です。

十二月十七日は、ことし最後の「家庭の日」です。そこで、この一年を十分ふりかえってみるとともに一九七三年という新しい年を迎えるにふさわしい企画を考えてみるのが、必要ではありますまいか。たとえば、物や金のしようすな使い方、そのための「家計簿のつけ方」わが家の防犯、防火対策、歳末助けあい運動の意義、子どもたちの楽しい冬休みのすごさせ方などについて、家族みんなで努めて話しあいの場を持ちましょう。

また、年末の大掃除は、家族みんなで行事や仕事を分担して実施するのも有意義なことではないでしょうか。

12月17日「家庭の日」です  
話しあい  
新しい企画を

# 財政状況の公表

地方自治法および徳地町財政状況の公表に関する条例の規定により、昭和四十七年度上期における財政状況および昭和四十六年度決算見込みについて、その概要をこの報告いたします。

昭和四十七年十一月三十日  
徳地町長 長 嶺 政 男  
昭和四十七年度補正予算の状況  
一般会計当初予算は、四月町報

## 算見込み状況

歳 入 (単位、千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	収 入 歩 合	
			予 算 対 比	入 合 計 対 比
町 税	79,851	82,708	103.5	10.2
自動車取得税交付金	11,500	10,891	94.7	1.4
地方交付税	328,459	328,459	100.0	40.7
交通安全対策特別交付金	177	177	100.0	—
分担金および負担金	15,154	13,021	91.9	1.6
使用料および手数料	2,925	2,795	95.5	0.3
国庫支出金	65,380	64,611	98.8	8.0
県支支出金	37,709	38,278	100.5	4.7
財産収入	41,379	31,265	75.5	3.9
寄附収入	2,352	2,378	101.1	0.3
繰越金	618	500	80.9	0.1
繰入金	38,789	38,789	100.0	4.8
諸収入	36,966	36,541	98.8	4.5
町 債 借 入	155,700	156,100	100.2	19.3
地方譲与税	2,000	1,382	69.1	0.2
歳 入 合 計	817,959	807,895	98.7	100.0

## 昭和46年度 一般会計決算

歳 出 (性別別)

科 目	昭和45年度 決 算 額	昭和46年度 決 算 額	構 成 の 割 合 %	
			45 年 度	46 年 度
1 人 員 費	173,421	213,187	30.8	26.9
2 扶 公 物 費	135,276	167,093	24.0	21.1
3 4 5 6 7 8 9	15,396 41,348 60,549 11,313 39,612 10,304 3,500	18,122 50,024 79,001 15,409 43,733 1,879 14,997	2.7 7.3 10.7 2.0 7.1 1.8 0.6	2.3 6.3 10.0 1.9 5.5 0.2 1.9
10 災 害 復 旧 費	179,725	302,934	31.9	38.3
合 計	563,876	791,973	100.0	100.0

### 徳地インターチェンジ

#### 設置箇所をきまる

中国経貿自動車道の「徳地インターチェンジ」は、県道、防府、阿東線との交差点をほぼ中心として、県道より西側で才谷部落と山部落の一部に計画されています。インターチェンジの型式は、Aシンギュラートラップ型Vとなっており、この計画によりますと



農林特産物共進会  
海自衛官募集  
資格 十八歳以上二十五歳未満  
の日本国籍を有する男子  
待遇 毎月三万円のはか衣食  
住とも無料支給  
賞与年三回四、八万円分  
詳細は、役場町民課または、自  
衛隊山口地方連絡部へおたずね  
ください。

## 昭和46年度 特別会計決算見込み状況

(単位、千円)

特別会計名	区分	予 算 額	決 算 額	予算額対決算額の比率
国民健康保険事業	歳入	125,297	121,156	96.6
	歳出	125,297	121,093	96.6
国民健康保険直診	歳入	10,884	10,728	98.5
	歳出	10,884	10,666	98.0
住宅改修資金	歳入	1,739	1,691	97.2
	歳出	1,739	1,600	92.0
交通災害共済	歳入	4,754	5,114	107.5
	歳出	4,754	2,939	61.8
計	歳入	142,674	138,689	98.5
	歳出	142,674	136,298	96.6

## 歳 出 (目的別)

(単位、千円)

科 目	予 算 額	決 算 額	不 用 額	歳出合計に対する割合
議会費	14,711	14,546	165	1.8
義務教育費	136,642	132,989	3,653	16.8
衛生費	81,063	73,518	7,545	9.3
衛生費	26,468	24,075	2,393	3.0
農林水産業費	142,036	138,325	3,711	17.5
商工費	9,020	8,860	160	1.1
土木費	132,417	131,208	1,209	16.6
消防費	11,680	11,327	353	1.4
教育費	156,652	154,124	2,528	19.5
災害復旧費	54,332	53,199	1,133	6.7
震災公債償還費	49,851	49,802	49	6.3
支出金	3	0	3	—
予備費	3,084	0	3,084	—
歳 出 合 計	817,959	791,973	25,986	100.0

で報告しましたが、その後、六月定例会、七月定例会、九月定例会、八月臨時議会、九月定例会と四回にわたる補正を重ね、予算総額は、十二億七、四〇〇万円と町制以來始めて十億の大台を越えました。  
ご承知のように七月以降による災害で、二十億円を越える未曾有の被害を受け、財政的にも急激な変化に直面することになりました。また、国内の景気は停滞の様相を呈し、地方財政にも大きな影響を与えており、とくに一般財源の伸びがやみ等困難な状況のもとにあります。

しかし私は、町民福祉の向上のため、財源の確保に最善の努力をいたしますとともに、財政運営の効率化に極力努力することによりますます強まる町民皆さまの要望におこたえするよう懸命の努力を続けてまいります。そのついで、今年度は各町に於いて、そのついで、昭和四十六年度の決算見込み状況のみについて、ご報告いたします。



### 工業統計調査に ご協力ください

毎年十二月三十一日現在で工業統計調査が実施されます。  
この調査は、統計法に基づき指定統計調査で、製造業に限らずすべての事業所をもれなく調査いたします。  
調査にあたっては、知事から任命された調査員が事業所にお伺いして、「工業調査票」の記入をお願いいたします。調査事項を記入のうえ、期日までに調査員に提出されるようお願いいたします。  
調査票の秘密は、統計法によ

### 真心こめて はげませう

#### 歳末助けあい運動

ことしも歳末助けあい運動の時期になりました。この運動はご承知のように、みんなそろって明るいお正月を迎えよう、毎年十二月に行なわれる運動です。  
昨年の助けあい運動では、現金十九万九千余円、白米五万四千余りほか、たくさんのお金が寄せられ、それぞれ適正に配分していただいへん喜ばれました。  
ことしもみなさま方のあたたかい真心こめての贈り物で、恵まれない方々に少しでも喜んでいただきたいと思います。(町社協会長)

### 海自衛官募集

資格 十八歳以上二十五歳未満  
の日本国籍を有する男子  
待遇 毎月三万円のはか衣食  
住とも無料支給  
賞与年三回四、八万円分  
詳細は、役場町民課または、自  
衛隊山口地方連絡部へおたずね  
ください。

# 成人病予防シリウス 保健婦たより No. 2

## 高血圧を予防する食事

高血圧の過半数は、原因ははっきりつかめない「本態性高血圧」といわれるものであること、ある程度は体質が遺伝するといわれているけれども、環境や食生活の影響が大きいことなど、前回お話ししました。

今回は、その中でとくに「食生活面」について、高血圧を予防するには、どのような食品をどのように調理すればよいかについてお話ししましょう。

### 高血圧予防の食事の基本

ことわざに、安物買いの銭失いということがありますが、わたしたちは「安物買いの銭失い」という事実をよく理解しなければなりません。

これは、ただ高いものを多く食べればよいということではなく、命をたいて身につけるには、まず食生活面を改善しなければなりません。

### 高血圧を予防する食事

- 一 塩は少なく、辛いものはひかえる
- 二 塩は少なく、辛いものはひかえる
- 三 植物油は豊富にとる
- 四 魚は自由に、肉はほどほどに
- 五 新鮮な野菜たくさん

### 高血圧を予防する食事

日本人が米を主食するのは、おかしが塩辛いので、おかしを少なくご飯をたくさん食べてしまうからですが、米や麦、イモ、砂糖などは食べすぎると、体調をこたえ、他の栄養素がうまく消化吸収されるのに必要なたんぱく質や「ビタミン」は、不足がちなものになります。

### 高血圧を予防する食事

飲酒運転はいけない  
十二月は、クリスマス、忘年会とお酒を飲む機会が多くなりますが、飲酒運転は絶対禁物です。家族ぐるみで、また職場グループで飲酒運転をさせないよう、お互いがきびく見守りましょう。

運転者の方へ  
朝夕は暗闇が凍結したり、思わぬ積雪があったりしますので、ス

ればボールでなく、血管に「コレステロール」がついて、肥満の原因にもなります。

塩分を減らすと血圧Vが下るが、これは一般によく知られていますが、この塩分をとりすぎると、

「血圧」が高くなりやすいばかりでなく、「腎臓」や「心臓」にも負担をかけることとなります。

しかし、塩けの少ない食品はなかなか食べにくいもので、いろいろ工夫する必要があります。

また、新鮮な野菜たくさん魚や肉類の中には、「カリウム」が多含まれており、体の中にはい

た塩分を体外に出す働きがありますので、ある程度の塩分（一食一ぱい）(13〜15g)から一ぱい

半にをとも、おかしを十分に食べれば、そう神経質にならなくてもよいわけです。

植物油は、むしろ「動脈硬化」を予防する「モノール酸」を多く含んでいますので、動物やいため

塩分にも毎日使いたくしょう油、塩、砂糖を煮しめる料理でなく、食品の持つ自然の味

やおおろを生かすようにすること

ノタイヤかチェンなどの用意を忘れないように、また離陸する市

街での運転は、スピードを出しすぎないように注意いたしましょう

歩行者の方へ  
年末は、買物などで先を急ぐあまり、無理な横断をする人が多

ですが、これは事故のもとです。かならず安全を確認めて、正しい道路の横断や歩行に努めてくだ

さい。

「コツ」で、そのためには「煮る」料理よりも、「焼く」あるいは「たばく」。「蒸す」または、「油で揚げた」餅であえ

「油で揚げた」餅であえ、調味料を多くし、野菜肉のうま味をのがさず、にんにく、しょうが、玉ねぎ、レモン、ゆず、大根などを材料の下ごしらえや食べときの調味料として、使うとうま味が増します。

また、調理の途中で塩分を使うと、味がかくれてしまっても、思わず多量に使ってしまうことがありますので、できあがる少し前か食卓で塩やしょう油を加えるようにします。少量で塩けを感じることもできます。

最後に加工食品の中には、多分の塩分が含まれているので、十分注意してください。

以上で今回のおしらせはおわりですが、もつとご都合にお知らせしたい方は、各部署にお知らせされるか、役場のわくくども保健婦に直接ご相談ください。

次回：高血圧を予防する日常生活上の注意事項をお知らせする予定です。

## 年末、年始の子どもの過ごし方

もうすぐお正月です。ゆく年へもうすぐ、新しい年を迎える希望と喜びをぜひ子どもたちに味わわせたいものです。

そこで、実行のできる生活の目標を設計し、それが達成できるよ

う家族みんなで協力しましょう。また、この時期は子どもにかたい要求は「たばく」です。子どもが能力に応じた家の手伝いをさせるのもよいでしょう。

それは、働く喜びを体験させ親子の話し合いの場を作ることからも意義があります。家族そろってのレクリエーションも家族団らん

の機会として、ぜひ持たしたいものです。

年末、年始には、親類や知人などお客さまも多いので、こうした機会を通じて、生きた礼儀作法を身につけさせることも必要でありましょう。

最後にこの時期は、年末、年始特有のふん開きと解放感から、非行に誘われる事例も少なくありませんので、無用の外出はひかえて友だちとのつき合いにもよく注意し、充実した楽しい休みとなるようにさせてあげたいものです。

### 編集 後 記

ことしもいろいろありました。な中でも七月豪雨による被害、八坂地区の大災害などは、二十数億円にのぼる被害をもたらしました。

完全復旧には、今後かなりの時間を要すると考えられますので、ご不便でもご了承ください。

このほか、中央小学校の着工や山村開発センター工事関係などあり、予算総額も十二億七千四百万円と、町制以来の大規模となりました。編集室では、みなさんがご健康で明るいお正月を迎えられるようお祈りいたします。